

ユニテッド・アドバイザーズ株式会社 ITツールで生産性向上事例

会計事務所のコンサルティング会社として、さまざまなクライアントの課題を解決。RPAソフトの導入によって単純な事務作業を自動化！人にしかできない顧客への提案業務に集中でき、残業時間も大幅削減。

ITツール導入のきっかけ

定型的な事務作業の自動化に対する興味から導入を検討。専門知識がなくとも直感的に使えるRPAを探した。

新聞で業務自動化を実現するツールとしてRPAが取り上げられているのを目にし、どのようなツールなのか興味を持っていました。RPAシステムは海外製が多く、価格や機能も多種多様。利用する側にもシステムの専門知識が求められるように感じ、複雑に思えて導入を躊躇していました。

RPAシステムの多くが英語であったため、日本語の記載がある日本製のRPAを探し、セミナーに参加。給与の計算や定期的なデータ配布など、当社でもRPAによって自動化できる業務がたくさんあると気づき、定型化できる業務を社員から切り離すことで仕事の質を上げられるのではないかと考えました。



ユニテッド・アドバイザーズ株式会社

経営コンサルタント業

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-11-14 NKビル10階

創業：2007年7月

資本金：1350万円

従業員数：16名

<http://www.united-advisers.com/>

取り組み

日常的なオフィス業務の中から、単純作業の部分を自動化。給与計算から利用をはじめ、徐々に自動化業務を拡大。

導入したITツール：

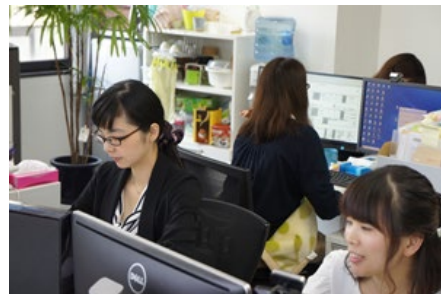
純国産RPAソフト「Robo-Pat」（株式会社FCEプロセス&テクノロジー）

PCで行う日常的なオフィス作業の手順をRPAに登録。ソフトにより業務をロボット化する。給与計算、勤怠管理、データの出力や照合などPC上で行う多様な定型的な作業に対応

ベンダー主催のセミナーに参加後、1ヶ月の無料体験期間を利用。通常業務の中にある定期的な作業の洗い出しを行い、まずは顧客向けの給与計算代行業務からRPAによる自動化を実施。その便利さと可能性を実感できたため、本格的に導入することを決定。



自動化・効率化ツール



効果

事務作業から解放され、コンサルティングの業務に集中。月30時間の残業時間削減と、サービスの向上につながった。

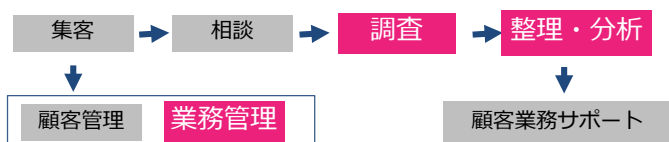
毎月同額となる役員給与の計算という簡単な業務からRPAを導入。その後は明細を作成、各々にメールする作業を追加。つい忘れがちな定型作業を自動化することから始め、使っていくうちに新たな利用方法を検討し、随時機能の追加、拡充させていきました。

RPAはシステム間の連携も得意なので、これまで使っていたクラウドの会計システムと業務管理やレポーティング用のデータベースを連携させ、入金の確認から生産性の分析、レポーティング、納品の管理まで、RPAを活用しています。

これまで社員が行っていた定型的な業務をRPAで自動化したことにより、社員は本来の業務であるクライアントのコンサルティングのご提案に集中できるようになりました。導入から1年も経たずに一人あたり毎月30時間の残業時間の減少を実現しました。時間に余裕ができたことで、資格取得のための勉強や知識の強化ができるようになり、社員もスキルアップ。会社としてのサービスも向上しました。



業務フローのココに効く！



アドバイス

条件を完璧に整えてからITツールを導入しようとせず、初めはお試し、限定的にスタートする気軽さがあっていいのではないのでしょうか。多忙でITツール導入の環境を用意できないとお考えの方、導入に踏み切れていないから忙しいのです！RPAを導入すると忙しさの質が変わると思います

